

千葉県立袖ヶ浦高等学校 情報コミュニケーション科

-情報活用能力の獲得をめざして-

千葉県立袖ヶ浦高等学校
教諭 永野 直
ngn.naoc@gmail.com

情報コミュニケーション科の設置

千葉県立袖ヶ浦高等学校

普通科

+

H23.4~

情報コミュニケーション科 (40名)

- ・ 県企画管理部県立学校改革推進課，県立高校再編計画に基づく
- ・ 県教育振興部指導課のサポート，カリキュラムの作成

学科のねらい

社会の変化に対応し，情報手段を積極的・適切に活用（情報活用能力）して，生涯にわたって主体的に学び続ける生徒の育成

情報活用能力

情報活用の実践力

「課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力」の育成

情報の科学的な理解

「情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解」の育成

情報社会に参画する態度

「社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度」の育成

3

情報活用能力の育成

情報コミュニケーション科

普通科

教科「情報」

コンピュータ教室主体

情報活用の
基本的な知識・技能

情報活用能力の育成

すべての教科・科目

あらゆる教室

思考・判断・表現
創造的な学びの充実

日常的な情報活用

情報活用能力の獲得

4

タブレット端末を日々の学習ツールのひとつに



5

1人1台タブレット端末

ねらい

- 従来の教育方法のリプレースでは「ない」
- 教育をシステム化することでは「ない」
- 「コミュニケーション」, 「共有」, 「協働」
言語活動の重視（話す, 聞く, 書く, 伝える 等）
- 黒板, 教科書, ノート, コンピュータも使う。
- 「教える」「教わる」から, 協働的な学びへ
- 情報モラルを日常の学習から身につける。
- 情報社会, 知識基盤社会に生きる態度, 感覚の育成
「してはいけない」から「私はこうする」へ

6

授業実践事例①

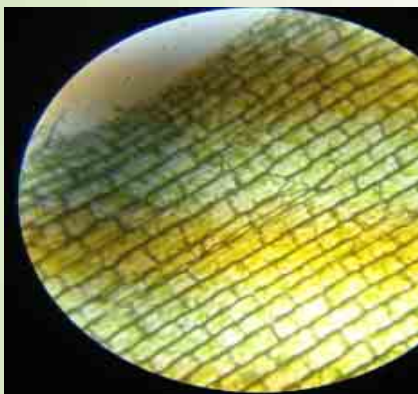
国語総合 . . . 漢詩の鑑賞



漢詩作品を鑑賞したのち、作者の心情風景をマルチメディアで表現する。作品テキスト、写真、音楽などをレイアウトし、作者の心情と作品への理解を深める。電子黒板で発表する。教員はなぜそのような表現をしたのか問いかけ、説明をさせる。⁷

授業実践事例②

生物Ⅰ . . . オオカナダモの原形質流動,
インパチエンスの花粉管観察



顕微鏡での観察結果を内蔵カメラで観察、記録しクラウドで共有する。その場で撮影した映像に、文字や矢印などを追加してスライド資料を作成し、観察結果を説明する。⁸

授業実践事例③

地学・・・浸食による地形

日本 V字谷（河川による浸食）



スイス U字谷（氷河による浸食）



浸食された地形の立体モデルを拡大、回転させて特徴を見つける。V字谷は谷底が狭く、集落は少ない。U字谷は、谷底が広く、集落が発達していることなどを観察し発表した。

9

授業実践事例④

情報数理Ⅰ
（学校設定科目）・・・確率、二次関数



二次関数の数値を変えてグラフの変化を確認し、周りの生徒と比較する。
サイコロのシミュレーションを各自数十回試行し、グループ、クラスのデータを統合することで、確率の理論値に近づいていくことを体感する。

10

授業実践事例⑤

情報コミュニケーション
(学校設定科目)

・・・プレゼンテーション



写真やビデオの撮影、動画編集、資料の作成、発表に至るまですべてタブレット端末で実施。大学生や近隣の学校の先生方など初対面の大人たちが聞き手。携帯性を生かして廊下などでプレゼンを行った生徒もいた。異なる世代とのコミュニケーションの体験。

11

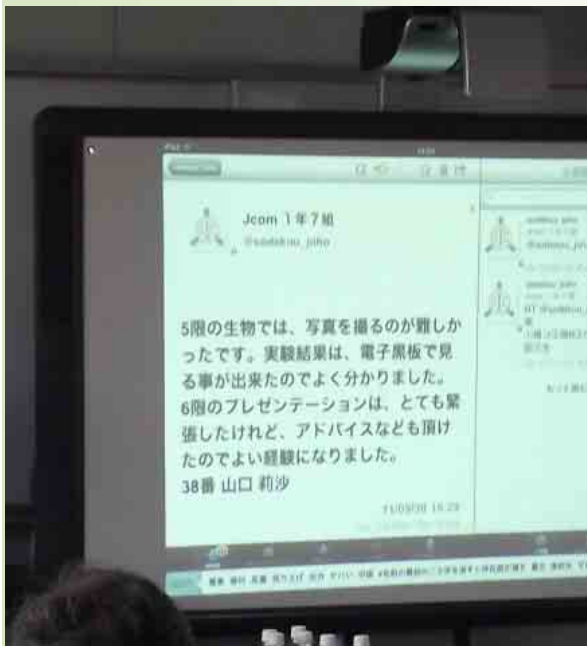
授業実践事例⑥



平成23年度文部科学省委託「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究」関東甲信越ブロック発表会（2012/1/16）千葉県総合教育センター
300名の聴衆の中で公開授業を実施。（国語・情報の連携）自作の俳句や漢詩をマルチメディアで表現し、発表した。

12

SNS・クラウドの活用



- sodekou_joho** Jcom 1年 7組
漢詩は少し堅苦しいイメージがあったけれど、石井さんの漢詩を説明を聞いて面白かったと思った 田代 #石井
1月16日
- sodekou_joho** Jcom 1年 7組
みんな作品から想いが伝わってきてすごい良い作品だと思いました！
(^o^)/ 大石 #発表者全員
1月16日
- sodekou_joho** Jcom 1年 7組
みんな、写真とかムービーとか凝っていてすごく良かったと思います。
内藤 #全員
1月16日
- sodekou_joho** Jcom 1年 7組
自分は俳句を作りました難しかったですが楽しくできました。伊藤容大 発表者 手が凝っていて良かったです。
1月16日
- sodekou_joho** Jcom 1年 7組
実際に作品を作ってみるとなかなか自分の思ったような雰囲気をつくる
ことができなくて大変だった。他の人の作品を今日見て、みんな上手く
写真や映像を使っていて面白かった。
1月16日
- sodekou_joho** Jcom 1年 7組
どの作品も文字に工夫があったり、音楽が流れたり、動画だったり個性が
あったしすごく工夫されていて、自分の作品とはまた違っていてど
ても参考になった。山口 #全員
1月16日

授業，発表者への感想，資料等は全員で即時に共有する。
(クラスの生徒・職員・授業担当者のみ閲覧可能)

13

授業の変化

「情報」だけでなく、「普通教科・科目」，
「普通教室・特別教室」へのひろがり



教えあい，学びあう，協働的な学習場面の増加。
積極的，主体的な情報モラルへ。目的によるICT機器の選択。
生徒のICT活用アイデア，工夫が授業に反映される。

1（教員）対40（生徒）だけでなく，皆で高めあう場面の増加¹⁴

重要だったポイント①

目的の理解と周知

- 学科のねらい，ビジョンの明確化
- 中学生，保護者への周知
- 中学校や自校職員間の共通理解

情報発信（学校訪問，Web），コミュニケーション

授業の実施

- 運用のルールづくり
- 授業担当者，科目，試験，評価
- 具体的な授業の進め方と共通理解
- コンテンツや教材の共有の仕組みの確立

何ができて，何ができないか
何をすべきか，何をすべきでないか
授業のねらい，学習のビジョンを明確化

15

重要だったポイント②

設備・予算

限られた予算を何に使うべきか。
無線LAN環境，電子黒板，保管ロッカー，アプリ，フィルタリング，セキュリティ等。

個別に使うものと，共有するもの。
個人に購入してもらうもの，学校で用意するものの判断。

授業のひろがり

「わからない」「むずかしい」「できない」
「なくてもできる」という教員への対応。

教科間の連携。まず見せる。さわってもらう。
研修も大事，普段のコミュニケーションも大事
タブレットでは誰でも操作が可能。授業力（学習のねらいや実現のためのアイデア，教材，手段の選択）が重要。

16

こころがけていること

一人一台環境は、
生徒が一人でICT機器を相手に学習することではない。

「コミュニケーション」「共有」「協働」

を通した情報活用能力の育成



生徒と生徒の
生徒と教員の
教員と教員の

学びあい

つくる
のこす
つたえる

学習や情報の受信，発信には必ず**他者の存在**がある。
自ら学ぼうとする意欲を高め，自己とともに
互いを高めあい，**情報活用能力の獲得**を目指す。